

未来工業株式会社

中期経営計画2026

(2026年3月期から2028年3月期まで)

東京証券取引所
名古屋証券取引所
証券コード: 7931

プライム市場
プレミア市場



■ 中期経営計画2026

■ 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

・ 企業価値向上に向けた目標と施策への取組状況

① 資本効率向上

② 業績向上

③ IR活動強化

④ 株主還元策

中期経営計画2026

(2026年3月期から 2028年3月期まで)

企業理念「常に考える」

経営の基本方針

ユーザーの使い易い製品を提供

- ・ 絶え間ない新製品の開発
- ・ ユーザーへの迅速な対応
- ・ 社員の自主性・創造性の重視
- ・ 地域社会への貢献

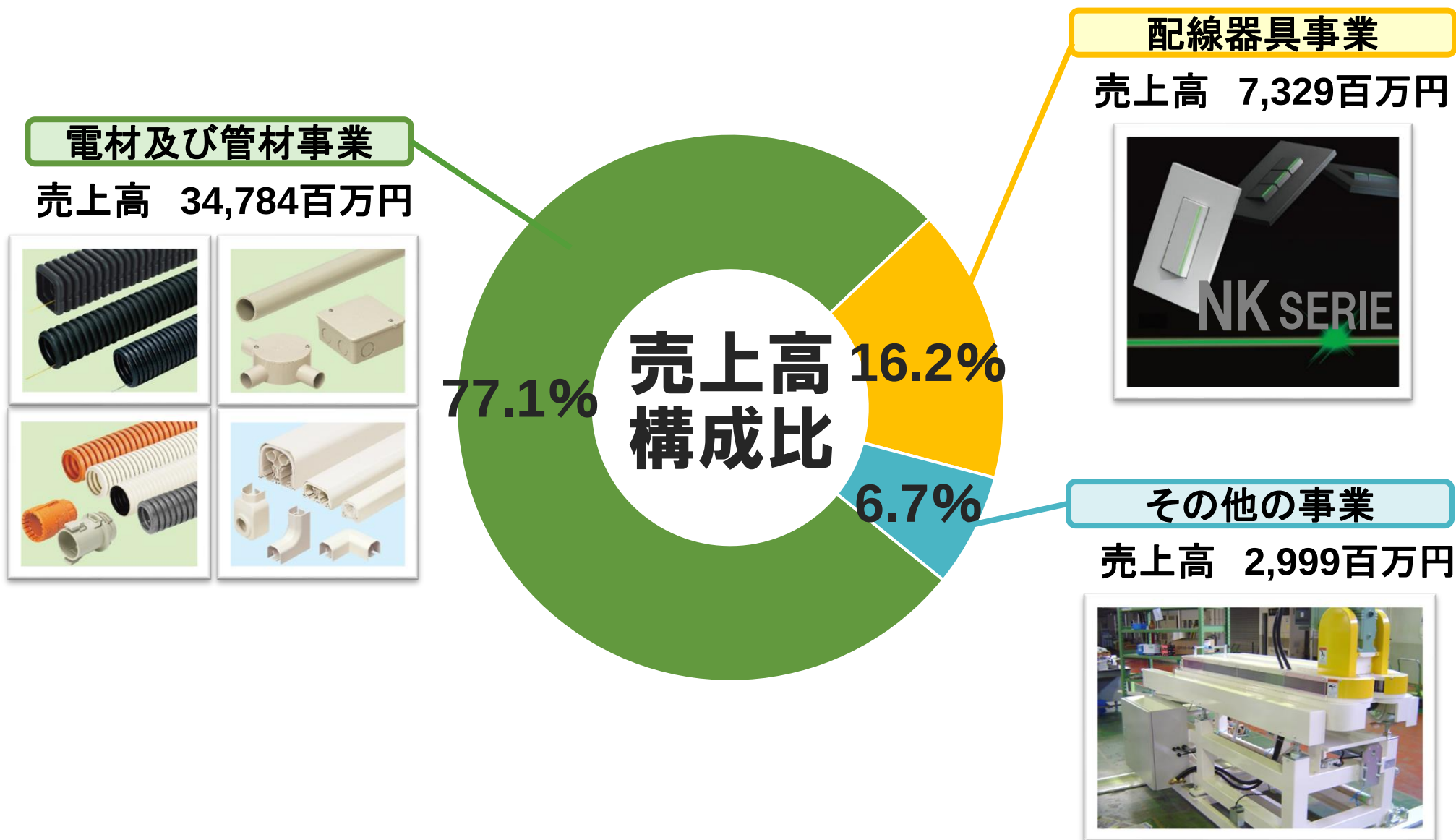
各事業の拡大

グループ各社の基盤強化

- ・ 経営の効率化
- ・ 独自性を生かした経営

継続的成長
収益拡大

企業価値最大化



各事業区分の状況

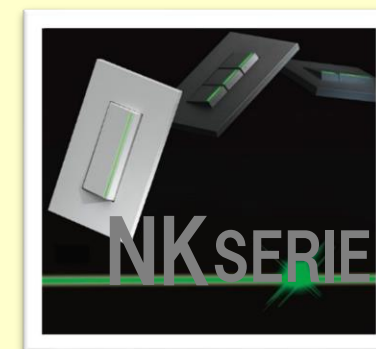
電材及び管材事業

関東地区を中心とした再開発や物流施設、データセンター、病院、官公庁の建て替え等の非住宅分野への推進に努める。
また、一部製品群の価格改定により利益水準の維持に努める。



配線器具事業

意匠性に優れた利益率の高い製品ラインナップの充実により、非住宅分野を中心に拡販を目指す。



その他の事業

新規取引先の開拓、既存取引先への販売強化により、省力化機械及び樹脂成形用金型を企業グループ外への拡販に努める。



中期経営計画(連結)

(単位:百万円、%)

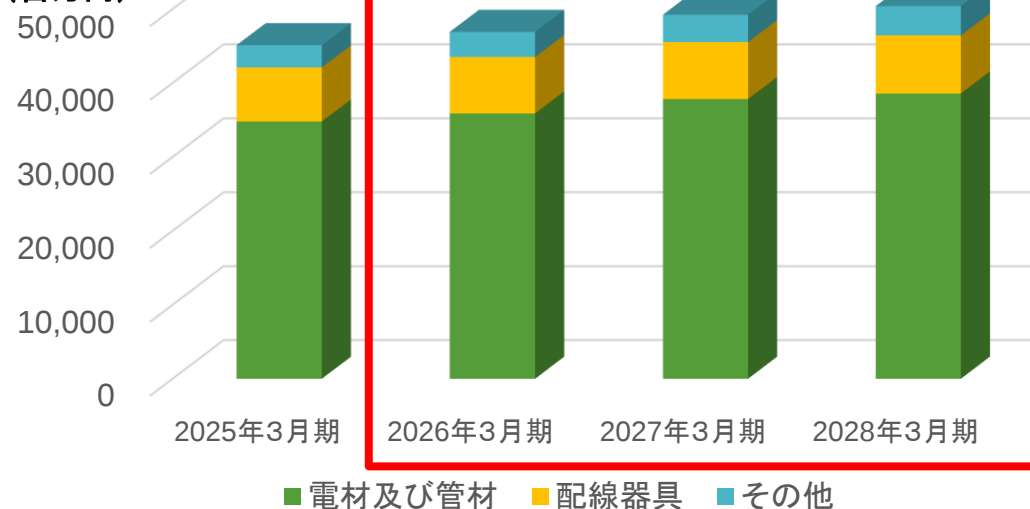
	2025年3月期 実績	2026年3月期 計画	2027年3月期 計画	2028年3月期 計画	2025年-2028年 増減率
売上高	45,113	46,914	49,234	50,401	+ 11.7%
営業利益	6,897	6,149	7,084	7,470	+ 8.3%
営業利益率	15.3	13.1	14.4	14.8	△0.5pt
経常利益	7,067	6,283	7,216	7,604	+ 7.6%
当期純利益	4,833	4,241	4,880	5,132	+ 6.2%
ROE	9.4	7.9	8.7	8.7	△0.7pt

中期経営計画(連結)

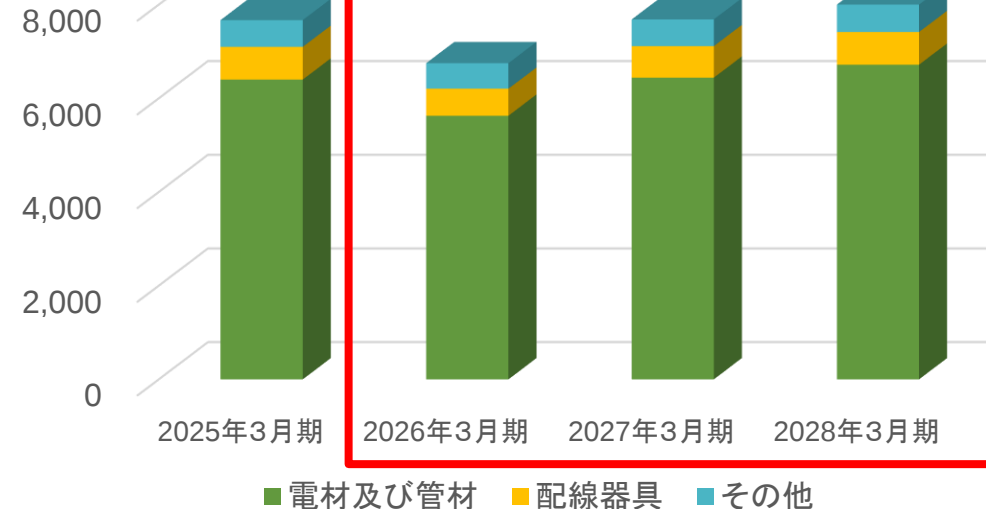
(単位:百万円)

	2025年3月期	2026年3月期	2027年3月期	2028年3月期	2025年-2028年 増減率
売上高	45,113	46,914	49,234	50,401	+11.7%
電材及び管材	34,784	35,883	37,823	38,577	+10.9%
配線器具	7,329	7,636	7,710	7,865	+7.3%
その他	2,999	3,393	3,700	3,958	+32.0%
営業利益	6,897	6,149	7,084	7,470	+8.3%
電材及び管材	6,400	5,628	6,440	6,717	+5.0%
配線器具	698	576	673	697	△0.2%
その他	571	545	570	656	+14.9%

売上高
(百万円)



営業利益
(百万円)

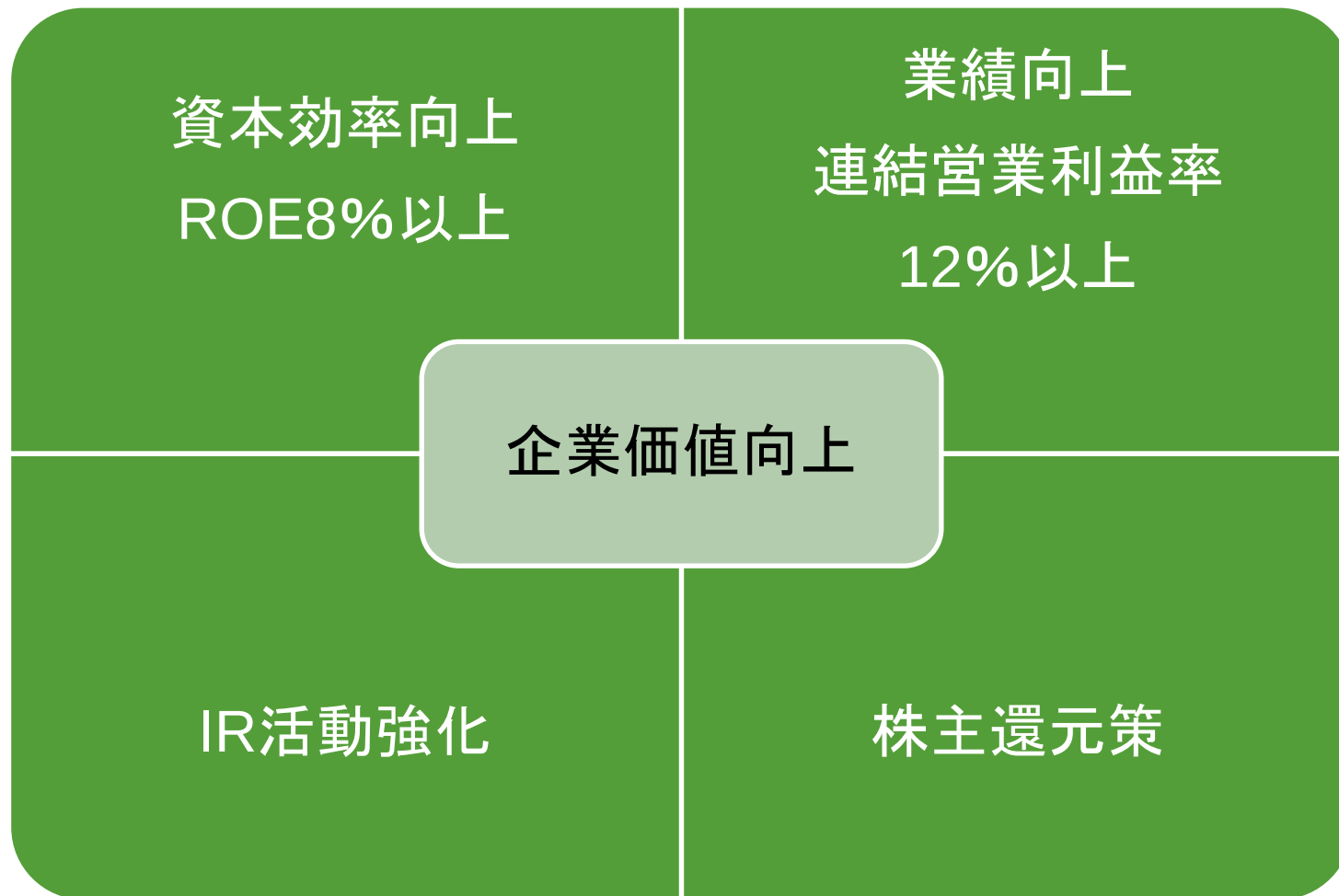


資本コストや株価を意識した経営の 実現に向けた対応

企業価値向上に向けた目標と施策への取組状況

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応(分析・計画開示)

- ・「中期経営計画2024」(2023年4月27日公表)で企業価値向上に向けた目標と施策として4つの取り組みを掲げました。



資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

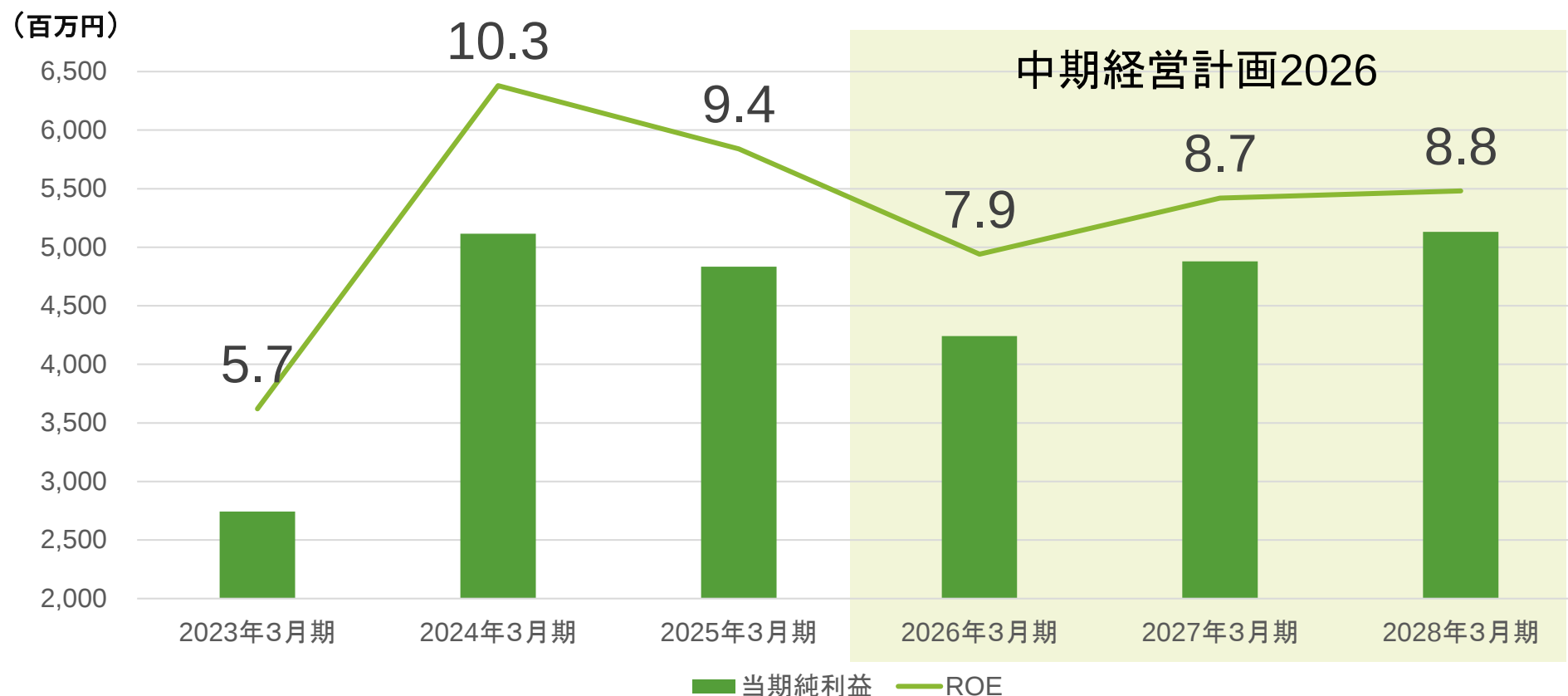
①資本効率向上

取組

目標 ROE8%以上(2026年3月までに)

2025年3月期の主な取り組み

電材及び管材、配線器具事業における改定後販売価格の維持によりROE8%クリア



資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

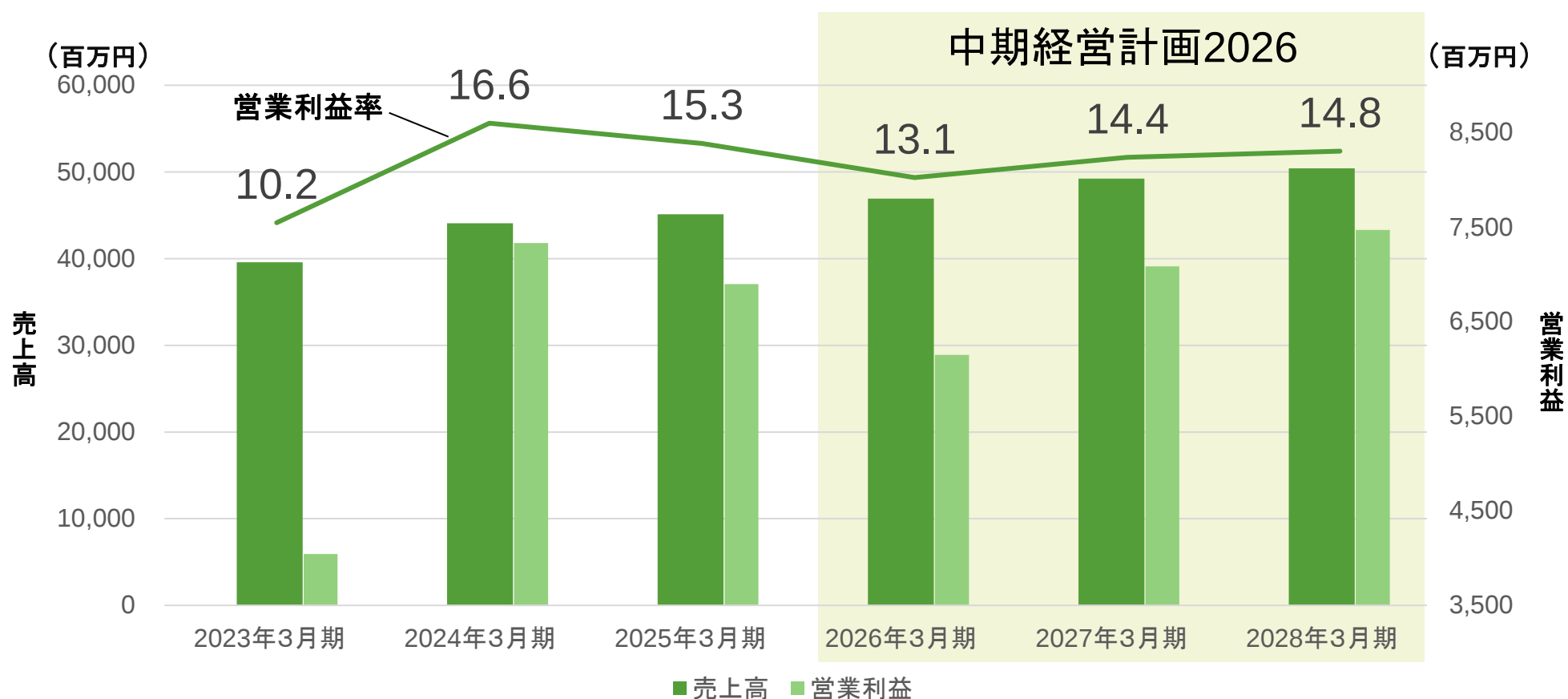
②業績向上

取組

目標 連結営業利益率12%以上(2026年3月までに)

2025年3月期の主な取り組み

電材及び管材、配線器具事業における改定後販売価格の維持により連結営業利益率12%クリア



資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

③IR活動強化による投資家向け情報発信の充実 投資家との対話機会の増加

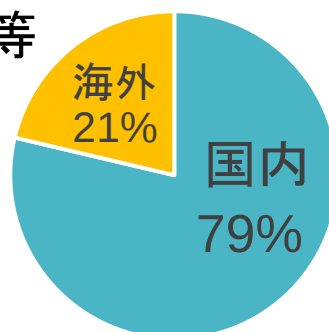
取組

2025年3月期の主な取り組み

イベント	頻度	対応者
機関投資家との個別面談 (WEB、対面)	四半期毎に10～20件	代表取締役社長、 総合企画部
決算説明会	年2回	
個人投資家向け	年1回	

機関投資家の属性

アナリスト、ファンドマネージャー、
ポートフォリオマネージャー等



対話の主なテーマ

ビジネスモデルや強み、経営戦略、
業界動向、業績及び計画等

対話の状況報告

面談状況や投資家様から得られた
情報を取締役会にて共有

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

③IR活動強化による投資家向け情報発信の充実 任意開示情報への取り組み

取組

2025年3月期の主な取り組み

事業を通じて社会的課題解決に取り組み、持続可能な社会を推進

E 環境

- CO2排出量を集計し、ホームページへ掲載
- CO2フリー電力の活用
- CDP質問書へ回答し、認定を取得

S 社会

- 社員の自己啓発をサポートし、成長を支援
- 女性管理職登用にに向けた研修の充実
- 社員のワークライフバランスを尊重し、働きやすい職場作りを推進

G ガバナンス

- CG(コーポレート・ガバナンス)の強化を図り、経営判断の迅速化及び経営の透明性・公正性を高める
- 資本コストや株価を意識した経営の対応

当社HPIにおいてサステナビリティの取り組みを掲載しております。是非ご高覧ください。
<https://www.mirai.co.jp/company/action/>

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

④株主還元策

取組

配当性向50%を目安に配当(2024年3月期から2026年3月期まで)

2025年3月期の主な取り組み

電材及び管材事業・配線器具事業における販売価格改定後の水準維持

